

Panasonic

TL TIME
LAPSE

AG-IA671 リファレンスガイド

タイムラプスビデオ
RS-232C
プロトコル

◆使用可能VTR

- AG-6740(別売品のAG-IA671が必要です)
- AG-6730(別売品のAG-IA671が必要です)
- AG-6040(別売品のAG-IA671が必要です)

目次

操作を行う前に

ページ

- [3] アウトライン
- [4] ハードウェア仕様
- [5] ソフトウェア仕様
- [6] コマンドレスポンス
- [7] 通信エラー
- [8] 操作準備

コマンド操作

ページ

- [9] オンラインチェック/操作ボタンの制御
- [11] ステータスセンス
- [12] VTRステータスセンス
- [14] アラーム設定/録画チェック結果
- [15] タイムコード ジェネレータ (TCG)設定
- [17] タイムコード リーダー (TCR)設定
- [18] VITC関連の設定
- [19] カウンターモードの設定
- [20] カウンターセンス/メモリーサーチ 設定/VITCセンス
- [21] サーチモード
- [26] 日付・時刻合わせ
- [28] 自動時刻合わせ機能の設定
- [29] テープ終端モード/テープ挿入時動作モード
- [30] ビデオ入力信号/S-VHS REC/入力映像カラーモード設定
- [31] 表示関連の設定
- [33] 時間モードの設定
- [34] 録画モードの設定/高密度録画モード設定
- [36] アラーム録画の設定
- [38] リピートインモードの設定/ブザーの設定
- [39] カメラ切り替え出力の設定
- [40] 一コマ録画モードの設定
- [41] 自動送信機能の設定 /テープ残量レベルの確認/ブルーバック設定
- [42] 内部タイマーの設定
- [44] メモリーデータの表示/リセット
- [45] アラームリコールデータの確認
- [46] パワーロスメモリーデータの確認
- [47] その他のデータ確認
- [48] IDコードの確認/ACK応答の設定

付録

ページ

- [49] コマンド一覧表 [O, P, H, T, S]
- [50] コマンド一覧表 [C, L, D]
- [51] コマンド一覧表 [V, Q]
- [52] コマンド一覧表 [Q, R]
- [53] サンプルプログラム

概要

RS-232Cとは

RS-232Cとは、EIA規格の2進直列データ相互交換方式を用いるデータ端末装置とデータ通信装置間のインターフェースの規格番号を示します。

タイムラプスビデオにRS-232CインターフェースアダプタAG-IA671を装着すると、パソコンから特定のコマンドを送信することにより、様々な制御を行うことができます。

制御内容

◆ 基本操作ボタンの制御

以下の基本操作ボタンを制御することができます。

停止、カセット取出し、巻戻し、早送り、一時停止/静止画、録画、再生、逆再生、電源、録画チェック、コマ送り、コマ戻し、早送り再生、巻戻し再生、録画モード、時間モード、アラームサーチ、アラームリコール

◆ カウンタ値、タイムコード値の検索

- カウンタ値をリセットする
- テープ上の任意の位置を検索する
- カウンタ値またはタイムコード値の読み込みを行う
- アラーム録画部分をサーチし、静止が再生する

◆ VITC タイムコード リーダー/ジェネレータ

VITC タイムコードのプリセット、書き込み、読み込みなどが行えます。

◆ VTR状態のモニタ

VTRの動作状況をモニタすることができます

◆ 各メニュー画面の設定

メニュー画面の設定を行うことができます

ご注意

RS-232Cで制御できる内容は、VTR側本体に存在する機能のみです。機種によっては、コマンドに対応する機能や設定項目がないものがあります。その場合コマンドはエラー扱いされます。

ソフトウェア仕様

通信プロトコル

◆ 通信モード

パラメータ	設定	初期値
ライン	ASYNCHRONOUS FULL DUPLEX	—
ボーレート	1200, 2400, 4800, 9600	4800
データ長	8 bits, 7 bits	7 bits
パリティ	None, Odd, Even	Odd
ストップビット	1 bit, 2 bits	1 bit

◆ 送信コマンド (パソコン → VTR)

◇ コマンドフォーマット

[STX] □□□ [ETX]
 (02H) (03H)

↑

コマンド識別子
 1文字目: コマンドグループ
 2, 3文字目: 個別グループ

Command group	Contents
0□□	基本操作
C□□	カウンタ
S□□	サーチ操作
T□□	タイマー
L□□	タイムラプス設定
V□□	ビデオ関連
P□□	電源
D□□	ディスプレイ(表示)
H□□	メディア(テープ)
R□□	通信
Q□□	問い合わせ
Z□□	その他

STX : データの始まりには、必ずSTX(キャラクタコード 02H)を付けます。
 ETX : データの始まりには、必ずETX(キャラクタコード 03H)を付けます。

■ 文字コードは、ASCIIコードを使用します。

◇ パラメータが必要なコマンドは、コロン(:)で区切ります。

[STX] □□□ : ○○○ : ○○○ : ○○○ [ETX]

↑
 パラメータ

通信エラー

受信不良の応答

◆受信不良があった場合

VTR側に受信不良が起こった場合、ただちに内容を示すNACKコードを返し、それまでの受信バッファをクリアして次の[STX]を待ちます。

[NCK]O = 受信不良(キャラクタコードは15H)

↑

続く数字で不良モードを知らせます。

- 1: パリティエラー (キャラクタコードは31H)
- 2: フレミングエラー (キャラクタコードは31H)
- 3: オーバーランエラー(キャラクタコードは34H)

エラーの応答

◆エラーがあった場合

送信コマンドの処理が何らかの理由で正常に行えなかった場合、エラーコードを返します。それまでの受信バッファをクリアして次の[STX]を待ちます。

[STX] ER_ [ETX] = Error

エラーコード	内 容	備 考
2 (32H)	エレベータロック (テープ装填エレベータ部の異常)	●ビデオカセットが正しく挿入されていないと、これらのエラーが発生する場合があります。 ●電源再投入して下さい。
3 (33H)	ローディングエラー (テープ巻き付け部の異常)	
4 (34H)	シリンダーエラー (ヘッドシリンダーの異常)	●ビデオカセットの状態が悪いと、これらのエラーが発生する場合があります。
5 (35H)	リールエラー(テープ走行部の異常)	
6 (36H)	テンションエラー(テープ圧力異常)	●テープを交換後電源再投入。
7 (37H)	ソレノイドエラー(リールソレノイド切れ)	●電源再投入 ● 部品交換
D (44H)	露付	●電源を入れしばらく放置(暖気)
A (41H)	オーディオエラー (オーディオ記録回路の異常)	●電源再投入 ●頻発するならサービスコール
E (45H)	コマンドエラー	●有り得ない命令、書式誤り
M (4DH)	メニュー/時刻合わせエラー	●有り得ないデータ/時刻の入力
T (54H)	サーチ中断エラー(目標位置なし)	
F (46H)	サーチ中断エラー(VTR側手動操作)	
P (50H)	サーチ中断エラー(テープ終始端)	
U (55H)	サーチ中断エラー(サーチ失敗)	
I (49H)	サーチ中断エラー(上記以外)	
O (4FH)	受信バッファオーバーフロー	

ご注意

- 応答中に、VTR側が新たにコマンドを受信した場合、現在の応答を終了した後、新たなコマンドに対する応答を行います。
- VTR側が[ETX]を受信する前に再度[STX]を受信した場合、それ以前に受信したコマンドを破棄(VTR側の内部バッファをクリア)し、再受信した[STX]以降のデータを処理します。
- VTR側の内部バッファがいっぱいになった場合、バッファをすべてクリアして、再度コマンドの受信を待ちます。

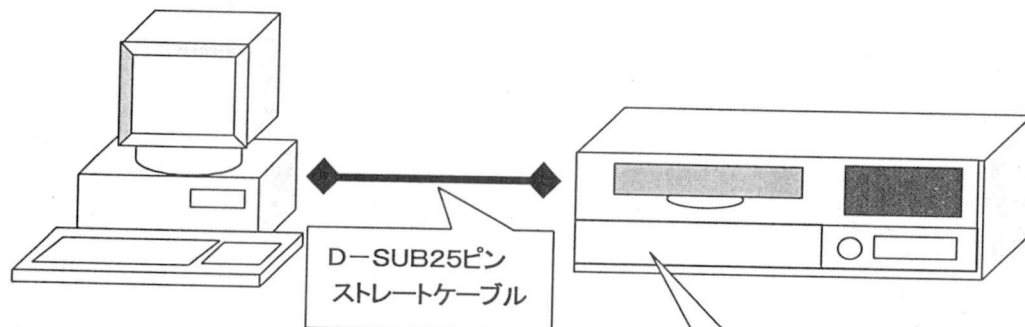
操作 preparations

準備

◆接続

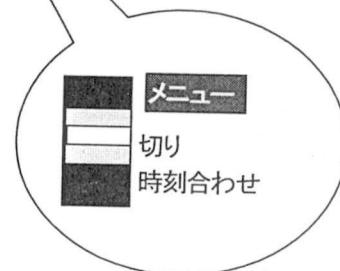
パソコンとAG-IA671 (もしくはAG-IA670) が装着されているVTRを、D-SUB25ピン(ストレートケーブル)で接続します。

結線については4ページを参照下さい。



◆設定

VTR側のプログラムスイッチを“切り”に設定して下さい。



オンラインチェック/操作ボタンの制御

オンラインチェック

制御内容	コマンド	説明
RS-232C ON-LINE CHECK	→ [STX] RCK [ETX]	パソコンとVTR間の通信が成立しているか(インタフェースが動作しているか)を確認するためのチェックコマンドです。 このコマンドをVTRが受け取った時、通信が正常な場合は、 [STX] RCK [ETX]を返します。 通信に異常がある場合は、エラーコードを返すか、または何もデータを返しません。
	← OK : [STX] RCK [ETX] NG : [STX] ER- [ETX] または [NACK] no data	

操作ボタンの制御

制御内容	コマンド	説明
POWER ON (電源ON)	→ [STX] PON [ETX]	VTRの電源を入れるコマンドです。 VTRの電源が切れている時に送信すると、VTRの電源が入ります。
	← [STX] PON [ETX]	
POWER OFF (電源OFF)	→ [STX] POF [ETX]	VTRの電源を切るコマンドです。 VTRの電源が入っている時に送信すると、VTRの電源が切れます。
	← [STX] POF [ETX]	
STOP (停止)	→ [STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止させるコマンドです。
	← [STX] OSP [ETX]	
EJECT (カセットの取出し)	→ [STX] OEJ [ETX]	カセットをイジェクトさせるコマンドです。
	← [STX] OEJ [ETX]	
REWIND (巻戻し)	→ [STX] ORW [ETX]	テープを巻戻しさせるコマンドです。
	← [STX] ORW [ETX]	
FIRST FORWARD (早送り)	→ [STX] OFF [ETX]	テープを早送りさせるコマンドです。
	← [STX] OFF [ETX]	
PAUSE/STILL (一時停止/静止画)	→ [STX] OPA [ETX]	一時停止(録画中)または静止画再生にするコマンドです。
	← [STX] OPA [ETX]	
RECORD (録画)	→ [STX] ORC [ETX]	録画を開始させるコマンドです。
	← [STX] ORC [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

(次ページに続く)

操作ボタンの制御(つづき)

操作ボタンの制御(つづき)

制御内容	コマンド	説明
REC REVIEW (録画チェック)	→ [STX] ORR [ETX]	録画チェックを行うコマンドです。
	← [STX] ORR [ETX]	
PLAY (再生)	→ [STX] OPL [ETX]	再生を開始させるコマンドです。
	← [STX] OPL [ETX]	
REVERSE PLAY (逆再生)	→ [STX] OPR [ETX]	逆再生させるコマンドです。
	← [STX] OPR [ETX]	
FORWARD ADVANCE (1コマ送り)	→ [STX] OAF [ETX]	静止画再生中、映像を1コマ送らせるコマンドです。
	← [STX] OAF [ETX]	
REVERSE ADVANCE (1コマ戻し)	→ [STX] OAR [ETX]	静止画再生中、映像を1コマ戻らせるコマンドです。
	← [STX] OAR [ETX]	
CUE × 7 (5) FORWARD (早送り再生)	→ [STX] OSF: 7 (5) [ETX]	ノーマル再生時の7倍速(もしくは5倍速)で早送り再生させるコマンドです。
	← [STX] OSF [ETX]	
CUE × 7 (5) REVERSE (巻戻し再生)	→ [STX] OSR: 7 (5) [ETX]	ノーマル再生時の7倍速(もしくは5倍速)で巻戻し再生させるコマンドです。
	← [STX] OSR [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)



- サーチ動作中は停止、イジェクト、電源OFFのコマンドを受け取りません。
- 連続で操作ボタンの制御コマンドを送るときは、コマンドの間隔が200msec以上空いている場合のみ有効です。(200msec以内の場合、動作の保証はできません。エラーコードも返しません。)
- 内部タイマー録画動作中はコマンドを受け付けませんが、動作はしません。
- 応答コマンドは動作完了時点ではなく、コマンド送信完了時に返します。(動作の完了は次ページのステータスセンスコマンドで確認して下さい。)

ステータスセンス

ステータスセンス

制御内容	コマンド	説明
STATUS SENSE	→ [STX] QOP [ETX]	VTRの動作状態を確認するためのコマンドです。 このコマンドをVTRに送信すると、VTR側から動作状態を示す応答コマンドを返します。 注) QSO送信後、VTRは自動送信モードになります。
	[STX] QSO [ETX]	
←	[STX] OSP [ETX]	: テープ走行を停止中
	[STX] OEJ [ETX]	: カセットがイジェクトされている状態
	[STX] ORW [ETX]	: テープを巻戻し中
	[STX] OFF [ETX]	: テープを早送り中
	[STX] ORC [ETX]	: 録画中
	[STX] ORP [ETX]	: 録画一時停止中
	[STX] OPL [ETX]	: 再生中
	[STX] OPP [ETX]	: 再生一時停止(スチル)中
	[STX] POF [ETX]	: 電源OFF状態
	[STX] OSF [ETX]	: 早送り再生中
	[STX] OSR [ETX]	: 巻戻し再生中
	[STX] ORR [ETX]	: 録画チェック中
	[STX] OPR [ETX]	: 逆再生中
	[STX] SCS [ETX]	: サーチ + スチル動作中
	[STX] SCP [ETX]	: サーチ + 再生動作中
	[STX] SUB [ETX]	: ユーザーズビットサーチ中
[STX] SAS [ETX]	: アラームサーチ中	
[STX] LIT [ETX]	: 内部タイマー録画モード待機中または録画中	
[STX] SPT [ETX]	: 指定位置までの再生中	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

VTRステータスセンス

VTRステータスセンス

制御内容	コマンド	説明						
DECK STATUS SENSE	→ [STX] QOS [ETX]	VTRの動作状態を検出し、その状態を下記のようなビットマップで応答します。 データはHEXデータをASCIIコードデータに変換してから返します。 [OH=ASCII 0(30h) FH=ASCII F(46h)]						
	[STX] OSP DATA DATA DATA DATA DATA DATA DATA DATA DATA DATA ADRS0H ADRS0L ADRS1H ADRS1L ADRS2H ADRS2L ADRS3H ADRS3L ADRS4H ADRS4L [ETX]							
	◆シリアルデータ表							
	Address	7 6 5 4 3 2 1 0						
DATA ADRS 0	FULL EE ON/OFF	SELECT EE ON/OFF	AUTO EDIT/ NOT	PREVI- EW/ NOT	PREVI- EW/ NOT	0	0	0
DATA ADRS 1	SHORT PLAY	0	STAND BY/NO T	0	DIGITAL /NOT	0	TAPE TYPE	SERVO LOCK
DATA ADRS 2	REC INH TAB	CASSE - TT IN/NOT	VV/EE	VTR STATUS				
DATA ADRS 3	DIREC- TION	SPEED OF REVOLUTION						
DATA ADRS 4	ASSMB- LE	INSERT VIDEO	INSERT AUDIO C1	INSERT AUDIO C2	0	0	IN POINT SET /NO	OUT POINT SET/NO

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

(次ページに続く)

VTRステータスセンス(つづき)

VTRステータスセンス(つづき)

制御内容	コマンド		説明	
DECK STATUS SENSE	◆シリアルデータ 0, 1, 3, 4 BIT 7 ~ BIT 0: 未使用			
	◆シリアルデータ2			
	DATA ADDRESS 2			
	BIT 7	REC INHIBIT TAB	REC PROTECT/NOT	カセット誤消去防止つめ折れ検出フラグ
	BIT 6	CASSETTE IN/OUT	IN/OUT	カセット挿入検出フラグ
	BIT 5	未使用	0	
	BIT 4 ~ BIT 0	0, 1, 1, 1, 1	CUE × 7	早送り再生(7倍速)
		0, 1, 1, 1, 0	REVIEW × 7	巻戻し再生(7倍速)
		0, 1, 1, 0, 1	CUE × 5	早送り再生(5倍速)
		0, 1, 1, 0, 0	REVIEW × 5	巻戻し再生(5倍速)
		0, 1, 0, 1, 1	REVERSE PLAY	逆再生
		0, 1, 0, 1, 0	REC REVIEW	録画チェック
		0, 1, 0, 0, 1	REC PAUSE	録画一時停止
		0, 1, 0, 0, 0	RECORD	録画
		0, 0, 1, 1, 1	STILL	静止画再生
		0, 0, 1, 1, 0	PLAY	再生
		0, 0, 1, 0, 0	POWER OFF	電源 OFF
		0, 0, 0, 1, 1	FAST FORWARD	早送り
		0, 0, 0, 1, 0	REWIND	巻戻し
	0, 0, 0, 0, 1	EJECT	イジェクト	
0, 0, 0, 0, 0	STOP	停止		

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

アラーム設定/録画チェック結果

アラームセットコマンド

制御内容	コマンド		説明
ALARM IN	→	[STX] OAI [ETX]	VTRにアラーム入力を与え、アラーム録画モードにするコマンドです。 (ただし、ALARM DURATIONが“MANUAL”に設定されている場合は、アラーム録画になりません。)
	←	[STX] OAI [ETX]	
ALARM CLEAR	→	[STX] OAL [ETX]	VTRに対してのアラーム入力を解除します。
	←	[STX] OAL [ETX]	

録画チェック結果センス(全機種共通)/録画チェック設定コマンド(AG-6740のみ)

制御内容	コマンド		説明
REC REV. STATUS SENSE	→	[STX] QOR[ETX]	録画チェックを行った結果を知りたいとき使用するコマンドです。 録画チェック中にコマンドを送信した場合、前回分の録画チェック結果をかえします。
	←	OK: [STX] ORO [ETX] NG: [STX] ORN [ETX]	
REC REV. AUTO MODE SET AG-6740	→	[STX] LRR:- [ETX]	VTRを自動録画チェックモードにするコマンドです。 LRR:- ↑ N: 録画チェックする F: 録画チェックしない
	←	[ACK][STX] LRR [ETX]	
REC REV. MODE SET SENSE AG-6740	→	[STX] QRR[ETX]	VTRが自動録画チェックモードになっているか確認するためのコマンドです。 LRR:- ↑ N: なっている F: なっていない
	←	[ACK][STX]LRR-[ETX]	

→: 送信(パソコン→VTR)

←: 応答(パソコン←VTR)

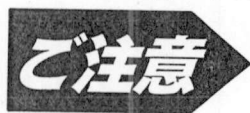
タイムコードジェネレータ (TCG) 設定

TCGモードコマンド

制御内容	コマンド	説明
REGENERATE MODE	→ [STX] CTR [ETX]	TCGの動作モードをリジェネモード*にするコマンドです。 VTRの日付・時刻(TDG値)にTCGの値を合わせます。 *編集用VTRのリジェネモードとは異なります。 例) 12月31日/12時30分30秒15フレーム/アラーム番号99のとき、リジェネモードにすると。 TC=12:30:30:15 UB*=C31--99 (16進方でCは12)
	← [ACK][STX] CTR [ETX]	
FREE RUN MODE	→ [STX]CTF[ETX]	TCGの動作モードをフリーランモードにするコマンドです。常にタイムコードがカウントします。(タイムコードの初期値はCTSコマンドで設定できます。)
	← [ACT][STX] CTF [ETX]	
REC RUN MODE	→ [STX]CRR[ETX]	タイムコードをレックランモードにするコマンドです。録画時にタイムコードがカウントされます。通常録画時はフレームごとにカウントし、間欠録画時はフィールドごとにカウントします。(タイムコードの初期値はCTSコマンドで設定できません。)
	← [ACT][STX] CRR [ETX]	
TCG MODE SENSE	→ [STX]QCT[ETX]	TCGモードを確認するコマンドです。 フリーラン:CTFP レックラン:CTRP リジェネ:CTFR
	← FREE RUN: [STX]CTFP[ETX] REC RUN: [STX]CTRP[ETX] REGEN: [STX]CTFR[ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)



- タイムコード値は常にドロップフレームになります。
- UB*サーチでカメラ番号もサーチされる場合は、シーケンシャルスイッチャの切り替えフィールド数を100フィールド以上に設定して下さい。

※UB=ユーザビット...映像信号の垂直ブランキング部に任意のデータを書き込めるエリアのこと
タイムコードと同様に8桁だが0~F(16進数で16)までのデータを書き込める。

タイムコードジェネレータ(TCG)設定(つづき)

ユーザズビット(UB)プリセットコマンド

制御内容	コマンド	説明
UB DATA PRESET	→ [STX] CUS:----- [ETX] ↑ UBデータを入力する	ユーザズビットの初期値を設定するコマンドです。 UB(バイナリ4ビット×8)データはASCIIコード0~9、A~F(コード30~39H、41~46H)で設定します。 例)UB値を「12345678」に設定する場合。 [STX] CUS:12345678 [ETX]を送信します。
	← [ACK][STX] CUS [ETX]	
UB DATA SENSE	→ [STX] QCB [ETX]	TCGのユーザズビット値を確認するコマンドです。 例)UB値が「12345678」の場合 [STX] CUS:12345678 [ETX] を返します。
	← [STX] CUS----- [ETX] ↑ UBデータを表示する	
UB PRESET DATA SENSE	→ [STX] QCA [ETX]	プリセットしたユーザズビット値を確認するコマンドです。 例:UBプリセット値が「FEDCBA98」の場合 [STX] CUPFEDCBA98 [ETX] を返します。
	← [STX] CUP----- [ETX] ↑ UBプリセット値を表示する	

タイムコード(TC)プリセットコマンド

制御内容	コマンド	説明
TC DATA PRESET	→ [STX] CTS:hhmmssff [ETX] ↑ TCデータを入力 ご注意	タイムコードの初期値を設定するコマンドです。 例)TC値を12時34分56秒10フレームに設定する場合 [STX] CTS:12345610 [ETX]を送信します。
	← [ACK][STX] CTS [ETX]	
TC DATA SENSE	→ [STX] QCS [ETX]	TCGのタイムコード値を確認するコマンドです。 例)TC値が12時34分56秒10フレームの場合 [STX] CTS12345610 [ETX] を返します。
	← [STX] CTS hhmmssff [ETX] ↑ TCデータを表示します	
TC PRESET DATA センス	→ [STX] QCE [ETX]	TCGのタイムコードプリセット値を確認するコマンドです。 例)TCプリセット値が0時11分22秒00フレームの場合 [STX] CTE00112200 [ETX] を返します。
	← [STX] CTE hhmmssff [ETX] ↑ TCデータを表示します	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)



- TC値「hhmmssff」は「00:00:00:00」～「23:59:59:29」までの値で正しく入力して下さい。ありえない数値を代入するとエラーを返します。
- TC、UBのデータのプリセット値は、TCモードをフリーランまたはレックランに変更後行って下さい。リジェネモードではプリセットできません。
- プリセットデータは設定直後のみ有効です。

タイムコードリーダー(TCR)設定

タイムコードリーダー(TCR)コマンド

制御内容	コマンド		説明
TC READ STATUS MODE	→	[STX] QCZ [ETX]	TCRがタイムコード値を読み取れたかどうかを確認するコマンドです。 読み取りOK=[STX] CTZ1 [ETX] 読み取りNG=[STX] CTZ2 [ETX] ●TC値の読み取り値の確認は、カウンタセンスの項目を確認下さい。(20ページ)
	←	[STX] CTZ- [ETX]	
UB READ MODE	→	[STX] QCU [ETX]	TCRが読み込んだUB値を確認するコマンドです。 例)UB値が12345678の場合 [STX]CUS12345678 [ETX] を返します。
	←	[STX] CUR----- [ETX] ↑ UB値を表示	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

VITC関連の設定

VITC挿入ライン設定コマンド

制御内容	コマンド		説明
VITC LINE POSITION	→	[STX] CVP:HHLL [ETX] ↑ VITC挿入ラインを2ライン入力する	VITCを挿入するラインを設定するコマンドです。 隣接しない二つのラインを設定します。 例) 一つ目のラインを10Hに、二つ目のラインを14Hに設定する場合 [STX]CVP:1014 [ETX]を送信します。 ●1ライン目の値<2ライン目の値であること(HH < LL) ●設定範囲は10H~19H (10 ≤ HH < LL ≤ 19)
	←	[ACK][STX] CVP [ETX]	
VITC LINE SENSE	→	[STX]QCP[ETX]	VITCの挿入ラインを確認するコマンドです。 例) 一つ目の挿入ラインが10Hで、二つ目のラインが14Hの場合 [STX] CVP1014 [ETX] を返します。
	←	[STX] CVPHHLL [ETX] ↑ VITC挿入ラインを2ライン表示する	

VITC記録モードコマンド

制御内容	コマンド		説明
VITC REC MODE ON	→	[STX]CVN[ETX]	VITC記録モードをONにするコマンドです。
	←	[ACK][STX] CVN [ETX]	
VITC REC MODE OFF	→	[STX]CVF[ETX]	VITC記録モードをOFFにするコマンドです。
	←	[ACK][STX] CVF [ETX]	
VITC REC MODE SENSE	→	[STX]QCV[ETX]	VITC記録モードのON/OFFを確認するコマンドです。
	←	ON : [STX]CVN[ETX] OFF: [STX]CVF[ETX]	

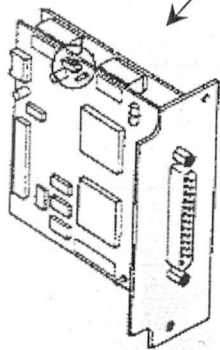
→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

■ ALL DEL(全消去)スイッチ

AG-IA671基板上にALL DELスイッチがついています。

ALL DELスイッチ●



ON: VITCの記録時、垂直ブランキングライン(10H~19H)上の他の信号をすべて消去します。

OFF: VITCの記録時、垂直ブランキングライン(10H~19H)上の他の信号に加えてVITCを記録します。

カウンターモード設定

カウンターモードコマンド

制御内容	コマンド	説明																																																			
CTL RESET	→ [STX] CRT [TX]	CTLテープカウンタ値をリセットするコマンドです。																																																			
	← [STX] CRT [ETX]																																																				
CTL MODE	→ [STX] CTL [ETX]	カウンタサーチおよびカウンタデータをCTL信号でカウントするコマンドです。																																																			
	← [STX] CTL [ETX]																																																				
TC MODE	→ [STX] CTC [ETX]	カウンタサーチおよびカウンタデータをタイムコードの読み取り値とするコマンドです。 (サーチモードはFINEのみとなります。COARSEになっている場合は、自動的にFINEになります。)																																																			
	← [STX] CTC [ETX]																																																				
TC MODE WITH T-MODE	→ [STX] CTC:- [ETX] ↑ T-MODEコードを入力	TCカウンタサーチのとき、時間モードを入力するためのコマンドです。 リジエモードのタイムコードが記録されているテープをカウンタサーチする場合、録画したときの時間モードと同じ時間モードを設定する必要があります。これは、時間データが録画時間モードによって連続した値にならないためです。																																																			
	[STX] CTC [ETX]																																																				
T-MODEコード表																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>T-MODE コード</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>2H</td><td>—</td></tr> <tr><td>1</td><td>6H</td><td>—</td></tr> <tr><td>2</td><td>L12H</td><td>—</td></tr> <tr><td>3</td><td>L18H</td><td>—</td></tr> <tr><td>4</td><td>L24H</td><td>—</td></tr> <tr><td>5</td><td>24H</td><td>24H</td></tr> <tr><td>6</td><td>48H</td><td>48H</td></tr> <tr><td>7</td><td>72H</td><td>72H</td></tr> <tr><td>8</td><td>84H(96H*)</td><td>96H</td></tr> <tr><td>9</td><td>120H</td><td>120H</td></tr> <tr><td>A</td><td>180H</td><td>180H</td></tr> <tr><td>B</td><td>240H</td><td>240H</td></tr> <tr><td>C</td><td>480H</td><td>480H</td></tr> <tr><td>D</td><td>000H</td><td>000H</td></tr> <tr><td>E</td><td>—</td><td>960H</td></tr> <tr><td>F</td><td>OFF</td><td>OFF</td></tr> </tbody> </table>			T-MODE コード			0	2H	—	1	6H	—	2	L12H	—	3	L18H	—	4	L24H	—	5	24H	24H	6	48H	48H	7	72H	72H	8	84H(96H*)	96H	9	120H	120H	A	180H	180H	B	240H	240H	C	480H	480H	D	000H	000H	E	—	960H	F	OFF	OFF
T-MODE コード																																																					
0	2H	—																																																			
1	6H	—																																																			
2	L12H	—																																																			
3	L18H	—																																																			
4	L24H	—																																																			
5	24H	24H																																																			
6	48H	48H																																																			
7	72H	72H																																																			
8	84H(96H*)	96H																																																			
9	120H	120H																																																			
A	180H	180H																																																			
B	240H	240H																																																			
C	480H	480H																																																			
D	000H	000H																																																			
E	—	960H																																																			
F	OFF	OFF																																																			
* 96H/ 960H ↓ AG-6740 のみ																																																					
SEARCH T-MODE SENSE	→ [STX] QCM [ETX]	TC MODE WITH T-MODEのT-MODE設定値を確認するコマンドです。																																																			
	← [STX] CTM- [ETX] ↑ T-MODEコードを表示																																																				

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

カウンタセンス/メモリーサーチ設定/VITCセンス

カウンターセンス

制御内容	コマンド	説明
COUNTER SENSE	→ [STX] QCD [ETX]	現在のカウンタ値を確認するコマンドです。 CTLカウンタ値、またはVITC読み取り値、サーチ終了後の動作モード、サーチ精度設定値を以下のフォーマットで返します。 ●CTL/VITCの切り替えはCTL、TC MODE設定により行います。(19ページ)
	← COARSE, SEARCH STILL: [STX] CDCS $ghmmssff$ [ETX] FINE, SEARCH STILL: [STX] CDFS $ghmmssff$ [ETX] COARSE, SEARCH PLAY: [STX] CDCP $ghmmssff$ [ETX] FINE, SEARCH PLAY: [STX] CDFP $ghmmssff$ [ETX] $ghmmssff$ 入力条件 VITCカウンタサーチ: $00 \leq gh \leq 23, 00 \leq mm \leq 59, 00 \leq ss \leq 59, 00 \leq ff \leq 29$ CTLカウンタサーチ: $-9 \leq gh \leq 9, 00 \leq mm \leq 59, 00 \leq ss \leq 59, 00 \leq ff \leq 29$ 例) CTLカウンタでCOARSE, SEARCH STILL 1:23:45:10の場合 [STX] CDCS_1234510 [ETX] ↑ プラスの場合はスペース(20H) マイナスの場合は-(2DH) 例) TCカウンタでFINE, SEARCH PLAY 23:59:59:10の場合 [STX] CDFP23595910 [ETX]	

メモリーサーチモード設定 (AG-6740のみ)

制御内容	コマンド	説明
MEMORY SEARCH MODE SETTING AG-6740	→ [STX] SCZ:- [ETX]	VTRをメモリーサーチモードにセットするコマンドです。 このコマンドをセットすると早送り・巻戻しコマンドでCTLカウンタ00:00:00:00にサーチ後停止します。 SCZ:- ↑ N: 停止します F: 停止しません(通常のFF/REW動作) 注意)アラーム録画モードONのときは停止しません。
	← [ACK][STX] SCZ [ETX]	
MORY SEARCH MODE SENSE AG-6740	→ [STX] QSZ [ETX]	メモリーサーチモードの設定を確認するコマンドです。
	← [STX] SCZ- [ETX]	SCZ- ↑ N: メモリーサーチ設定 F: メモリーサーチ不設定

VITCセンス

制御内容	コマンド	説明
VITC READ DATA SENSE	→ [STX] QCW [ETX]	VITCの読み取り値を成否、UB値、TC値を一括で確認するコマンドです。
	← [STX] CTW $abbbbbbbcccccccc$ [ETX]	

a : 1 (読み取りOK)
: 2 (読み取りNG)
 $bbbbbbbb$: UB値
 $cccccccc$: TC値

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

サーチモード

カウンタサーチ

制御内容	コマンド	説明
COUNTER SEARCH	→ SEARCH STILLの場合 [STX] SCS:ghmmssff [ETX] ↑ サーチ目的位置を入力する SEARCH PLAYの場合 [STX] SCP:ghmmssff [ETX] ↑ サーチ目的位置を入力する	カウンタ値を指定し、任意のテープ位置をサーチするコマンドです。サーチ範囲はテープ現在位置から±12時間以内です。 SCSはサーチ後その地点で静止画になります。 SCPはサーチ後その地点から再生を開始します。 「:S」により、サーチ範囲を0~24時間にします。 Ghmmssff 入力条件 VITCカウンタサーチ: $00 \leq gh \leq 23, 00 \leq mm \leq 59, 00 \leq ss \leq 59, 00 \leq ff \leq 29$ CTLカウンタサーチ: $-9 \leq gh \leq 9, 00 \leq mm \leq 59, 00 \leq ss \leq 59, 00 \leq ff \leq 29$ 例) CTLカウンタ値+1:23:45:10をサーチスチルする場合 [STX] SCS:1234510 [ETX]を送ります。 例) TCカウンタ値12:34:56:10をサーチプレイする場合 [STX] SCP:12345610 [ETX]を送ります。 例) サーチ範囲を0~24時間にする場合 [STX] SCS:12345610:S [ETX]
	←	サーチ開始時: [ACK]または[STX] SCS [ETX]/[STX] SCP [ETX] サーチ終了時: [STX] SCS [ETX]/[STX] SCP [ETX]、もしくは応答なし。 サーチ中断時: エラーコードI, F, T, P, Uまたは応答なし。 ●ただし、サーチ終了応答のタイミングの設定により異なります。(→24ページ)

時刻/日付サーチ

制御内容	コマンド	説明
TIME/DATE SEARCH	→ [STX] SSD:MDD:hmmssff [ETX] ↑ サーチ目的位置を入力する	テープ上のTC/UB値をもとに時刻/日付サーチを行うコマンドです。サーチ後、静止画再生します。 例) 1月2日、10時52分30秒10フレームをサーチする場合 [STX] SSD:102:10523010 [ETX]
	← [ACK][STX] SSD [ETX] ↑ サーチ終了後の応答はカウンタサーチを参照のこと	注 ¹) 10月=A、11月=B、12月=Cと入力 注 ²) TC/UB値が不連続に記録されているとサーチしません。 注 ³) TCモードになってないと動作しません。

→: 送信(パソコン→VTR)

←: 応答(パソコン←VTR)

サーチモード(つづき)

日付サーチ

制御内容	コマンド	説明
DATE SEARCH	→ [STX]SDT:MDD:-[ETX] ↑ サーチする日付を入力 ↑ サーチ方向 正方向:F 逆方向:R 入力のない場合 Fになる	テープ上に記録されたUB値をもとに日付サーチするコマンドです。 例)1月2日をサーチする場合 SDT:102(:F)と入力 注')10月=A、11月=B、12月=Cと入力
	← [ACK][STX]SDT[ETX] ↑ サーチ終了後の応答は カウンタサーチを参照のこと	

ユーザズビットサーチ

制御内容	コマンド	説明
UB SEARCH	→ [STX] SUB:-----:- [ETX] ↑ サーチ目標地点を入力 ↑ サーチ方向 正方向:F 逆方向:R 入力のない場合 Fになる	テープ上に記録されたUB値をもとにサーチするコマンドです。(目的UB値の先頭をサーチします。)サーチ終了後、静止画再生します。 例)カレンダー値5月7日を正方向にサーチする場合(あらかじめテープをリジネモードで記録しておく必要があります) [STX] SUB:507*****(:F) [ETX]を送ります。 ↑ 正方向の場合入力は省けます 例)UB7=1, UB5=A, UB2=Fを正方向にサーチする場合 [STX]SUB:1*A*F**(:F) [ETX]を送ります ↑ 正方向の場合入力は省けます ●サーチの必要のないデータに関しては、*(2AH)を使いサーチ対象外とすることができます。
	← サーチ開始時: [ACK] もしくは [STX] SUB [ETX] サーチ終了時: [STX]SUB[ETX] もしくは応答なし サーチ中断時: エラーコード I, F, T, P, U もしくは応答なし ●ただし、サーチ終了タイミングの設定により異なります。(→24ページ)	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

サーチモード(つづき)

アラームリコールナンバーサーチ

制御内容	コマンド	説明
ALARM RECALL NUMBER SEARCH	→ [STX] SAS:--(:-) [ETX] ↑ アラームナンバーを 入力してください。 ↑ サーチ方向 正方向:F 逆方向:R 入力のない場合 F になる	TCモードをリジエネに設定しておく、アラーム録画を行ったときに、アラームリコール番号をユーザズビット上に自動で書き込みます。 この番号を使用し、アラーム録画箇所の先頭をサーチします。サーチ後その地点で静止画になります。 例)アラーム番号47を逆方向にサーチする場合 [STX]SAS:47:R[ETX]を送ります。
	← サーチ開始時:[ACK] もしくは [STX] SAS [ETX] サーチ終了後:[STX] SAS [ETX]もしくは応答なし サーチ中断時:エラーコード I, F, T, P, U もしくは応答なし ●ただし、サーチ終了後応答タイミングの設定により異なります。(→24ページ)	

指定位置までの再生

制御内容	コマンド	説明
PLAY TO FRAME	→ [STX] SPT:ghmssff [ETX] ↑ 指定位置を入力	カウンタ値を指定し、そのカウンタ値まで自動で再生動作します。再生動作後、静止画になります。↓ 例)CTLカウンタ値0:12:32:10まで再生する場合 [STX] SPT: 0123210 [ETX]を送信します。
	← サーチ開始時:[ACK] もしくは [STX] SPT [ETX] サーチ終了後:[STX] SPT [ETX]もしくは応答なし サーチ中断時:エラーコード I, F, T, P, U もしくは応答なし ●ただし、サーチ終了後応答タイミングの設定により異なります。(→24ページ)	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

サーチモード(つづき)

サーチ終了コマンド応答タイミング

制御内容	コマンド	説明
SEARCH END COMMAND SEND TIMING SET	→ [STX]RSE:- [ETX]	サーチ終了コマンドの応答タイミングを設定します。 RSE:- ↑ 0,3: ノーマル ●サーチ開始時[ACK] ●サーチ終了時[STX] S-- [ETX] ●サーチ中断時[STX] ER- [ETX] 1: サーチ終了コマンドなし ●サーチ開始時[ACK] [STX] S-- [ETX] ●サーチ中断時[STX] ER- [ETX] 2: サーチ終了、中断コマンドなし ●サーチ開始時[ACK] [STX] S-- [ETX] ●ACKコマンドの応答は、ACK応答設定で、ON/OFF できます。(→48ページ) ●ACK OFF設定で、RSEを3に設定するとサーチ開 始時に[STX]S--:S[ETX]を返します。
	← [STX]RSE[ETX]	
SEARCH END COMMAND SEND TIMING SENSE	→ [STX] QRS [ETX]	サーチ終了コマンドの応答タイミングの設定を確認いた します。
	← [STX] RSE- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

サーチモード(つづき)

サーチ操作前のご注意

- サーチ操作を行う場合は、時間モードを2HIに設定して下さい。
- サーチ操作を行う場合は、あらかじめタイムコードを読んでおく必要があります。
- テープの終始端付近では、アラームおよびUBサーチは行えません。
- UBサーチデータやアラームサーチデータは、1.5秒間以上(間欠録画時は90フィールド以上)記録されていることが必要です。
- サーチコマンドは、VTRの録画モードがNORMAL(通常モード)で、動作モードがPLAY(再生)、STILL(静止画)、STOP(停止)、FF/REW(早送り/巻戻し)、CUE/CUE REVERSE(早送り・巻戻し再生)のときのみ受け付けます。

サーチ動作中のご注意

- サーチ中断は、停止、イジェクト、電源OFFコマンドで行います。
- サーチ終了コマンドを応答する直前に、他のコマンドを送信した場合、そのコマンドに対する応答より先にサーチ終了コマンドを返す場合があります。
- サーチ動作、指定位置までの再生動作中にリモコンとの同時操作を行わないでください。誤動作の原因になります。
- サーチ中に動作コマンドやカウンタモード設定コマンドを送ると、エラー(エラーコードE)を返信します。
- サーチを中断すると以下のエラーコマンドが返されます。

[STX] ER - [ETX]

↑
エラーコード

エラーコード	内 容
F	サーチ中にVTR本体の動作ボタン等を操作した場合
P	サーチ中にテープが終始端になった場合
T	サーチの目標位置が無かった場合、または記録時間が短くて、信号が読み取れなかった場合
I	サーチ中にOSP(停止)、OEJ(イジェクト)、POF(電源OFF)コマンドを送った場合
U	サーチ目標位置をサーチしたが、テープ終端付近などの理由でサーチに失敗した場合

日付・時刻合わせ

日付合わせ

制御内容	コマンド	説明
CALENDAR DATA SET	→ [STX] TCS:yyyymmdd [ETX] ↑ 年月日を入力	VTRの日付を設定するコマンドです。 VTRがコマンドを受信した時点から日付が動作します。 例) 1998年12月25日に設定する場合 [STX] TCS:19981225 [ETX]を送ります。 設定範囲 AG-6740 :最大2011年12月31日 AG-6730 :最大2007年12月31日 AG-6040 :最大2007年12月31日 ●ありえない日付を入力すると、データセットエラーを返します。
	← [ACK][STX] TCS [ETX]	
CALENDAR DATA SENSE	→ [STX]QTL[ETX]	VTRの日付を確認するためのコマンドです。
	← [STX] TCSyyyymmdd [ETX] ↑ 年月日を表示する	例) VTRの日付が1998年12月25日の場合 [STX] TCS19981225 [ETX]を送ります。

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

日付・時刻合わせ(つづき)

時刻合わせ

制御内容	コマンド	説明
TIME DATA SET	→ [STX] TTS:hhmmss [ETX] ↑ 時分秒を入力	VTRの時刻を設定するコマンドです。 VTRがコマンドを受信した時点から時刻が動作開始します。(設定の誤差は±1秒以内です) 例)9時15分30秒に設定する場合 [STX] TTS:091530 [ETX]を送ります。 設定範囲 最大23時59分59秒まで
	← [ACK][STX] TTS [ETX]	●ありえない時刻を設定すると、データセットエラーを返します。
TIME DATA SENSE	→ [STX]QTC[ETX]	VTRの時刻を設定するコマンドです。
	← [STX] TTS:hhmmss [ETX] ↑ 時分秒を表示する	例)VTRの時刻が23時59分59秒の場合 [STX] TTS:235959 [ETX]を返します。
CALENDAR/TIME DATA SET	→ [STX] TDS:yyyymmdd:hhmmss [ETX] ↑ ↑ 年月日を入力 時分秒を入力する	VTRの日付と時刻を設定するコマンドです。 設定範囲 AG-6740 :最大2011年12月31日23時59分59秒まで AG-6730 :最大2007年12月31日23時59分59秒まで AG-6040 :最大2007年12月31日23時59分59秒まで ●ありえない日付を入力すると、データセットエラーを返します。
	← [ACK][STX]TDS[ETX]	
CALENDAR/ TIME DATA SENSE	→ [ACK][STX]QTD[ETX]	VTRの日付と時刻を確認するコマンドです。
	← [STX] TDSyyyymmddhhmmss [ETX] ↑ 年月日、時分秒を表示する	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

自動時刻合わせ機能の設定

自動時刻合わせ機能の設定

制御内容		コマンド	説明
TIME ADJUST TIME DATA AND MODE SET	→	[STX] TAT:hh:- [ETX]	VTRの後面ターミナル部の時刻合わせターミナルによる時刻合わせ機能の設定時間とモードを設定するコマンドです。 例) 設定時刻を20時に、モードをMASTERにする場合 [STX] TAT:20:M [ETX] ↑ ↑ M: MASTER S: SLAVE 設定範囲: 0~23時まで
	←	[ACK][STX] TAT [ETX]	
TIME ADJUST TIME DATA AND MODE SENSE	→	[STX] QTJ [ETX]	時刻合わせ機能の設定時刻とモードを確認するコマンドです。 例) 設定時刻が20時で、モードがMASTERの場合 [STX] TAT20:M [ETX]を返します。
	←	[ACK] [STX] TAThh:- [ETX]	

イジェクト機能設定

制御内容		コマンド	説明
EJECT OPERATION SET(EJECT)	→	[STX] HEE [ETX]	イジェクト時の動作モードを設定するコマンドです。通常のイジェクト動作になります。
	←	[ACK][STX]HEE[ETX]	
TIME DATA OPERATION SET(AUTO)	→	[STX]HEA[ETX]	イジェクト時の動作モードを設定するコマンドです。イジェクトの指示があると、一旦テープ始端まで巻戻してからイジェクトします。
	←	[ACK][STX]HEA[ETX]	
EJECT OPERATION SENSE	→	[STX]QHJ[ETX]	イジェクト時の動作モードを確認するコマンドです。
	←	EJECT:[STX]HEE[ETX] AUTO : [STX]HEA[ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

テープ終端モード/テープ挿入時動作モード

テープエンドモード 設定

制御内容	コマンド	説明
TAPE END MODE SET	→ [STX]HTE:- [ETX]	テープ終端時の動作モードを設定するコマンドです。 [STX]HTE:- [ETX] ↑ S : 停止します R : 巻戻し後停止 B : 停止後ブザーを鳴らします P : 巻戻し後再び録画を続行します
	← [ACK] [STX]HTE [ETX]	
TAPE END MODE SENSE	→ [STX]QHE [ETX]	テープ終端時の動作モードを確認するコマンドです。
	← [ACK] [STX]THE- [ETX]	

テープ挿入時の動作設定

制御内容	コマンド	説明
TAPE IN MODE SET	→ [STX]HTI:- [ETX]	VTRにカセットが挿入されたときの動作を設定するコマンドです。 [STX]HTI:- [ETX] ↑ S : 停止します R : 録画を開始します A : 巻戻し後、録画を開始します
	← [ACK] [STX]HTI [ETX]	
TAPE IN MODE SENSE	→ [STX]QHI [ETX]	VTRにカセットが挿入されたときの動作設定を確認するコマンドです。
	← [STX]HTI- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

映像入力信号/S-VHS RECモード/ 入力映像カラーモード設定

ビデオ入力信号設定

制御内容	コマンド		説明
VIDEO IN MODE SET (LINE)	→	[STX]VIL[TX]	映像信号の入力切り替えを設定するコマンドです。 ライン映像入力に設定します。 結線をご確認下さい
	←	[ACK][STX]VIL[ETX]	
VIDEO IN MODE SET (S(Y/C))	→	[STX]VIS[ETX]	映像信号の入力切り替えを設定するコマンドです。 S(Y/C)映像入力に設定します。 結線をご確認下さい
	←	[ACK][STX]VIS[ETX]	
VIDEO IN MODE SENSE	→	[STX]QVI[ETX]	映像信号の入力ラインを確認するコマンドです。
	←	LINE : [STX]VIL[ETX] S(Y/C) : [STX]VIS[ETX]	

S-VHS RECモード設定

制御内容	コマンド		説明
S-VHS REC ON	→	[STX]VSN[TX]	VTRをS-VHS RECモードをONにするコマンドです。 注意 S-VHSテープ挿入時、RECコマンドでS-VHS録画 します。 VHSテープ挿入時は自動的にVHS録画になります。
	←	[ACK][STX]VSN[ETX]	
S-VHS REC OFF	→	[STX]VSF[ETX]	VTRをS-VHS RECモードをOFFにするコマンドです。 注意 S-VHSテープ挿入時、強制的にVHS録画になりま す。
	←	[ACK][STX]VSF[ETX]	
S-VHS REC MODE SENSE	→	[STX]QVS[ETX]	S-VHS RECモードを確認するコマンドです。
	←	ON : [STX]VSN[ETX] OFF : [STX]VSF[ETX]	

入力映像カラーモード設定



制御内容	コマンド		説明
VIDEO COLOR MODE	→	[STX]VMD:-- [ETX]	入力映像信号のカラー/白黒モードを設定するコマ ンドです。 [STX]VMD:- [ETX] ↑ A: AUTOモード B: B/Wモード C: COLORモード
	←	[ACK][STX]VMD[ETX]	
VIDEO COLOR MODE SENSE	→	[STX]QVM[ETX]	入力映像信号のカラー/白黒モードを確認するコマ ンドです。
	←	[STX]VMD-[ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

表示関連の設定

表示設定

制御内容	コマンド	説明
DISPLAY POSITION SET	→ [STX] DPP:-- [ETX]	<p>モニタ画面上の文字スーパー表示位置を設定するコマンドです。</p> <p>[STX] DPP:-- [ETX] モニター画面</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>RT : Top right LT RT</p> <p>RB : Bottom right C</p> <p>LT : Top left LB RB</p> <p>LB : Bottom left</p> <p>C : Center</p>
	← [ACK][STX] DPP [ETX]	<p>●オプションコマンド</p> <p>Sオプション:表示文字をステップ移動させます。 [STX] DPP:S:- [ETX]</p> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>U: Up R: Right D: Down L: Left</p> <p>Fオプション:表示文字を座標指定で移動させます。 [STX] DPP:F:xx:yy [ETX]</p> <p style="padding-left: 40px;">xx =X座標:02~3F yy =Y座標:00~3F</p>
DISPLAY POSITION SENSE	→ [STX] QDP [ETX]	モニタ画面上の文字スーパー表示位置を確認するコマンドです。
	← [ACK][STX] DPP-- [ETX]	<p>●オプションコマンドPで表示文字の座標位置が確認できます。</p> <p>[STX] QDP:P [ETX]を送ると、 [STX] DPP:xxyy [ETX]を返します。</p>
DISPLAY CHARACTER MODE(WHITE)	→ [STX]DBW[ETX]	モニタ画面上の表示文字を白文字に設定するコマンドです。
	← [ACK][STX]DBW[ETX]	表示例 
DISPLAY CHARACTER MODE(BLACK)	→ [STX]DBB[ETX]	モニタ画面上の表示文字を黒文字に設定するコマンドです。
	← [ACK][STX]DBB[ETX]	表示例 
DISPLAY CHARACTER MODE SENSE	→ [STX]QDB[TX]	モニタ画面上の表示文字の種類を確認するコマンドです。
	← [ACK] WHITE:[STX]DBW[ETX] BLACK:[STX]DBB[ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

表示関連の設定(つづき)

表示設定(つづき)

制御内容	コマンド	説明
DISPLAY DATA SET	→ [STX] DDS:-:-:-:- [ETX]	モニタ画面上の(T/Dモード)に表示する文字(日付・時刻・時間モード・カメラ番号)のON/OFFを設定するコマンドです。 DDS:-:-:-:-F ↑ ↑ ↑ ↑ 時刻 時間モード F固定 日付 (N=ON F=OFF) 例) 日付と時刻だけを表示させる場合 [STX]DDS:N:N:F:F[ETX]を送信します。 注意 アラーム表示は、時間モードのON/OFFに連動します。
	← [ACK][STX] DDS [ETX]	
DISPLAY DATA SENSE	→ [STX] QDD [TX]	モニタ画面上の(T/Dモード)に表示する文字(日付・時刻・時間モード・カメラ番号)のON/OFFを確認するコマンドです。
	← [ACK] [STX] DDS:-:-:-:- [ETX]	
DISPLAY DATA MODE SET	→ [STX] DMS:-:-:- [ETX]	表示モードを設定するコマンドです。 DMS:-:-:-0 ↑ ↑ ↑ 0固定 M: AM/PM時間制 H: 24時間制 L: LAP表示モード T: TIME&DATE表示モード P: ページ表示モード 例) LAPモード、24時間制、VTR番号4の場合 [STX] DMS:L:H:0 [ETX]を送信します。
	← [ACK] [STX]DMS[ETX]	
DISPLAY DATA SENSE	→ [STX]QDM[TX]	表示モードを確認するコマンドです。
	← [ACK][STX]DMS:-:-:-ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

時間モードの設定

時間モードの設定

制御内容	コマンド	説明																																																		
T-MODE SET	→ [STX] LTM:- [ETX] ↑ T-MODEのコードを入力する	記録再生時の時間モードを設定します。 ただし、REC T-MODEの値が設定されている場合の記録時は、REC T-MODEの値が優先されます。 LTM:- ↑ T(時間)モードコード																																																		
	← [ACK] [STX] LTM [ETX]																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時間モード コード</th> <th colspan="2">時間モード</th> </tr> <tr> <th>2Hモード</th> <th>HDモード AG-6740のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>2H</td><td>—</td></tr> <tr><td>1</td><td>6H</td><td>—</td></tr> <tr><td>2</td><td>L12H</td><td>—</td></tr> <tr><td>3</td><td>L18H</td><td>—</td></tr> <tr><td>4</td><td>L24H</td><td>—</td></tr> <tr><td>5</td><td>24H</td><td>24H</td></tr> <tr><td>6</td><td>48H</td><td>48H</td></tr> <tr><td>7</td><td>72H</td><td>72H</td></tr> <tr><td>8</td><td>84H(96H*)</td><td>96H</td></tr> <tr><td>9</td><td>120H</td><td>120H</td></tr> <tr><td>A</td><td>180H</td><td>180H</td></tr> <tr><td>B</td><td>240H</td><td>240H</td></tr> <tr><td>C</td><td>480H</td><td>480H</td></tr> <tr><td>D</td><td>000H</td><td>000H</td></tr> <tr><td>E</td><td>—</td><td>960H</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">* 96H ↓ AG-6740のみ</p>	時間モード コード	時間モード		2Hモード	HDモード AG-6740のみ	0	2H	—	1	6H	—	2	L12H	—	3	L18H	—	4	L24H	—	5	24H	24H	6	48H	48H	7	72H	72H	8	84H(96H*)	96H	9	120H	120H	A	180H	180H	B	240H	240H	C	480H	480H	D	000H	000H	E	—	960H
時間モード コード	時間モード																																																			
	2Hモード	HDモード AG-6740のみ																																																		
0	2H	—																																																		
1	6H	—																																																		
2	L12H	—																																																		
3	L18H	—																																																		
4	L24H	—																																																		
5	24H	24H																																																		
6	48H	48H																																																		
7	72H	72H																																																		
8	84H(96H*)	96H																																																		
9	120H	120H																																																		
A	180H	180H																																																		
B	240H	240H																																																		
C	480H	480H																																																		
D	000H	000H																																																		
E	—	960H																																																		
		例) 48時間モードに設定する場合 [STX] LTM:6 [ETX]を送信します。																																																		
T-MODE SET SENSE	→ [STX] QLT [ETX]	記録再生時の時間モードを確認するコマンドです。																																																		
	← [STX] LTM- [ETX] ↑ T-MODEコードを表示																																																			

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

録画モードの設定/高密画録画モード設定

録画モード設定

制御内容	コマンド	説明																																																					
REC MODE SET	→ [STX] LRM:- [ETX] ↑ 録画モードを入力する	録画モードを設定するコマンドです。 LRM:- ↑ E :外部タイマー録画モード I :内部タイマー録画モード N :ノーマル録画モード																																																					
	← [ACK][STX]LRM[ETX]																																																						
REC MODE SENSE	→ [STX] QLM [ETX]	録画モードを確認するコマンドです。																																																					
	← [ACK][STX] LRM- [ETX]																																																						
REC T-MODE SET	→ [STX] LRT:- [ETX] ↑ T-MODEコードを入力する	録画時間モードを設定するコマンドです。 LRT:- ↑ T(時間)モードコード																																																					
	← [ACK][STX]LRT[ETX]																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">時間モード コード</th> <th colspan="2">時間モード</th> </tr> <tr> <th>通常モード</th> <th>HDモード AG-6740のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>2H</td><td>—</td></tr> <tr><td>1</td><td>6H</td><td>—</td></tr> <tr><td>2</td><td>L12H</td><td>—</td></tr> <tr><td>3</td><td>L18H</td><td>—</td></tr> <tr><td>4</td><td>L24H</td><td>—</td></tr> <tr><td>5</td><td>24H</td><td>24H</td></tr> <tr><td>6</td><td>48H</td><td>48H</td></tr> <tr><td>7</td><td>72H</td><td>72H</td></tr> <tr><td>8</td><td>84H(96H*)</td><td>96H</td></tr> <tr><td>9</td><td>120H</td><td>120H</td></tr> <tr><td>A</td><td>180H</td><td>180H</td></tr> <tr><td>B</td><td>240H</td><td>240H</td></tr> <tr><td>C</td><td>480H</td><td>480H</td></tr> <tr><td>D</td><td>000H</td><td>000H</td></tr> <tr><td>E</td><td>—</td><td>960H</td></tr> <tr><td>F</td><td>OFF</td><td>OFF</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">* 96H ↓ AG-6740 のみ</p> <p>例) 48時間モードに設定する場合 [STX] LRT:6 [ETX]を送信します。</p>	時間モード コード	時間モード		通常モード	HDモード AG-6740のみ	0	2H	—	1	6H	—	2	L12H	—	3	L18H	—	4	L24H	—	5	24H	24H	6	48H	48H	7	72H	72H	8	84H(96H*)	96H	9	120H	120H	A	180H	180H	B	240H	240H	C	480H	480H	D	000H	000H	E	—	960H	F	OFF	OFF
時間モード コード	時間モード																																																						
	通常モード	HDモード AG-6740のみ																																																					
0	2H	—																																																					
1	6H	—																																																					
2	L12H	—																																																					
3	L18H	—																																																					
4	L24H	—																																																					
5	24H	24H																																																					
6	48H	48H																																																					
7	72H	72H																																																					
8	84H(96H*)	96H																																																					
9	120H	120H																																																					
A	180H	180H																																																					
B	240H	240H																																																					
C	480H	480H																																																					
D	000H	000H																																																					
E	—	960H																																																					
F	OFF	OFF																																																					
REC T-MODE SET SENSE	→ [STX]QLR[ETX]	録画再生時の時間モードを確認するコマンドです。																																																					
	← [ACK][STX]LRT-[ETX]																																																						

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

録画モード設定/高密度録画モード設定(つづき)

高密画録画モードの設定(AG-6740のみ)

制御内容	コマンド		説明
HD MODE SET	→	[STX] LHD:- [ETX]	高密度録画モードのON/OFFを設定するコマンドです。 LHD:- ↑ N : 高密度録画モードON F : 高密度録画モードOFF
	←	[ACK][STX] LHD [ETX]	
HD MODE SET SENSE	→	[STX] QLJ [ETX]	高密度録画モードの設定を確認するコマンドです。
	←	[STX] LHD- [ETX]	
HD PLAY MODE SET SENSE	→	[STX] QLF [ETX]	再生しているテープが高密度録画モードで記録されているか・いないかを確認するコマンドです。 LHD-- ↑ PN : 高密度録画モードで記録されています。 PF : 高密度録画モードで記録されていません。
	←	[STX] LHD-- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

アラーム録画の設定

アラーム録画の設定

制御内容	コマンド	説明
ALARM SEARCH SET	→ [STX] LAS:- [ETX]	アラームサーチ機能のON/OFFを設定するコマンドです。 LAS:- ↑ N : アラームサーチ機能ON F : アラームサーチ機能OFF
	← [ACK][STX] LAS [ETX]	
ALARM IN MODE	→ [STX]LAI:- [ETX]	録画中にアラーム入力があった場合、アラーム録画後のテープ終端時の動作を設定するコマンドです。 LAI:- ↑ S : STOP(テープ終端で停止します) C : CONTINUE(テープ終端時の設定にしたがいます) →29ページ
	← [ACK][STX]LAI [ETX]	
ALARM DURATION SET	→ [STX] LAD:- [ETX] ↑ 録画間隔コードを入力する	アラーム録画の録画時間(間隔)を設定します。 LAD:- ↑ 0 : 0.5 min 1 : 1.0 min 2 : 1.5 min 3 : 2.0 min 4 : 3.0 min 5 : 6.0 min 6 : CONTINUE(テープ終端まで継続録画) 7 : MANUAL(アラーム信号が入力されている間のみ録画)
	← [ACK][STX]LAD [ETX]	
ALARM SENSOR MODE	→ [STX] LAM:- [ETX] ↑ アラーム録画時間コードを入力	アラーム録画時の録画時間モードを設定するコマンドです。 LAM:- ↑ アラーム録画時間モードコード
	← [ACK][STX]LAM [ETX]	

アラーム録画時間コード	TIME モード
0	OFF
1	2H
2	6H
3	L12H
4	L18H
5	L24H
6	24H
7	NO CHANGE

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

アラーム録画の設定(つづき)

アラーム録画の設定(つづき)

制御内容	コマンド	説明
ALARM RESET LEVEL SET	→ [STX] LAL:- [ETX] ← [ACK] [STX] LAL [ETX]	アラームリセット信号の入力レベルを設定するコマンドです。 LAL:- ↑ H : ハイレベルに設定します L : ローレベルに設定します。
ALARM REC SENSE	→ [STX] QLA:- [TX]	アラーム録画の各設定の状態を確認するコマンドです。 QLA:- ↑ S : アラームサーチ機能のON/OFF I : アラーム入力モードの確認 D : アラーム録画間隔の確認 T : アラーム録画時間モードの確認 R : アラームリセットレベルの確認
	←	QLA:S に対して [STX] LASN [EXT] : アラームサーチモード「ON」 [STX] LASF [EXT] : アラームサーチモード「OFF」 QLA:I に対して [ACK] [STX] LAIS [EXT] : アラームインモード「STOP」 [STX] LAIC [EXT] : アラームインモード「CONTINUE」 QLA:D に対して [STX] LAD- [EXT] : -の部分にアラーム録画間隔コードが入ります QLA:T に対して [STX] LAM- [EXT] : -の部分にアラーム録画時間モードが入ります QLA:R に対して [STX] LALH [EXT] : アラームリセットレベル「HIGH」 [STX] LALL [EXT] : アラームリセットレベル「LOW」

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

リピートインモードの設定/ブザーの設定

リピートインモードの設定

制御内容	コマンド	説明
REPEAT IN MODE SET	→ [STX] LRI:- [ETX]	リピート録画の巻戻し中に、アラーム入力が入った場合の処理を設定するコマンドです。 LRI:- ↑ F : OFF(アラーム入力を無視する) A : ACCEPT(アラーム録画を開始する)
	← [ACK] [STX] LRI [ETX]	
REPEAT IN MODE SENSE	→ [STX] QLE [ETX]	リピートインモードを確認するコマンドです。
	← [STX] LRI- [ETX]	

ブザーの設定

制御内容	コマンド	説明
BUZZER SET	→ [STX] LBZ:- [ETX]	アラーム入力時のブザーのON/OFFを設定するコマンドです。 LBZ:- ↑ N : ブザーON F : ブザーOFF ●オプションコマンドで各設定時のブザーON/OFF設定が可能です。 LBZ:n:m ↑ ↑ N : ON F : OFF A : アラーム信号入力 E : テープエンド W : オートオフ(何らかの原因でVTRが強制停止) R : 録画チェック L : テープ残量がわずか AL : 上記すべて
	← [ACK] [STX] LBZ [ETX]	
BUZZER SENSE	→ [STX] QLZ [TX]	アラーム入力時のブザーのON/OFFを確認するコマンドです。 ●オプションコマンドで各設定時のブザーON/OFFの確認が可能です。 送信 QLZ:n ↓ 返信 LBZnm 設定条件はLBZコマンド参照
	← [ACK] [STX] LBZ- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

カメラ切り換え出力の設定

カメラ切り換え出力の設定

制御内容	コマンド		説明																				
CAMERA SWITCHOVER MODE SET	→	[STX] LCS:- [ETX]	カメラ切り換え出力のモードを設定するコマンドです。 LCS:- ↑ 1 : フレーム単位で切り換える 2 : フィールド単位で切り換える																				
	←	[ACK][STX] LCS [ETX]																					
CAMERA SWITCH TIMING	→	[STX] LCT:- [ETX] ↑ タイミングコードを入力	録画時のカメラ切り換えタイミングを設定するコマンドです。 LCT:- ↑ タイミングコードを入力 <table border="1" data-bbox="911 813 1306 1184"> <thead> <tr> <th>タイミングコード</th> <th>フィールド数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>1フィールド</td></tr> <tr><td>1</td><td>2フィールド</td></tr> <tr><td>2</td><td>3フィールド</td></tr> <tr><td>3</td><td>4フィールド</td></tr> <tr><td>4</td><td>5フィールド</td></tr> <tr><td>5</td><td>10フィールド</td></tr> <tr><td>6</td><td>20フィールド</td></tr> <tr><td>7</td><td>30フィールド</td></tr> <tr><td>8</td><td>60フィールド</td></tr> </tbody> </table> 例) 5フィールドタイミングで切り換える場合 [STX] LCT:4 [ETX] を送信。	タイミングコード	フィールド数	0	1フィールド	1	2フィールド	2	3フィールド	3	4フィールド	4	5フィールド	5	10フィールド	6	20フィールド	7	30フィールド	8	60フィールド
	タイミングコード	フィールド数																					
0	1フィールド																						
1	2フィールド																						
2	3フィールド																						
3	4フィールド																						
4	5フィールド																						
5	10フィールド																						
6	20フィールド																						
7	30フィールド																						
8	60フィールド																						
←	[ACK][STX] LCT [ETX]																						
CAMERA SWITCH AND TIMING SENSE	→	[STX] QLC [ETX]	カメラ切り換え設定の状態を確認するコマンドです。 LCS:-:- ↑ ↑ ↑ タイミングコード ↑ カメラ切り換えモード																				
	←	[STX] LCS:-:- [ETX]																					

→ : 送信 (パソコン → VTR)

← : 応答 (パソコン ← VTR)

1コマ録画モードの設定

1コマ録画モードの設定

制御内容	コマンド	説明																										
1-SHOT REC INTERVAL	→ [STX] LOI:- [ETX]	1コマ録画の待ち時間(インターバル時間)を設定するコマンドです。 LOI:- ↑ 1 :1分 2 :2分 3 :3分																										
	← [ACK][STX] LOI [ETX]																											
1-SHOT REC FIELD	→ [STX] LOF:- [ETX]	1コマ録画時の記録フィールド(録画時間)を設定するコマンドです。 LOF:- ↑ フィールドコード <table border="1" data-bbox="890 869 1273 1361"> <thead> <tr> <th>フィールドコード</th> <th>フィールド数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>1フィールド</td></tr> <tr><td>1</td><td>2フィールド</td></tr> <tr><td>2</td><td>3フィールド</td></tr> <tr><td>3</td><td>4フィールド</td></tr> <tr><td>4</td><td>5フィールド</td></tr> <tr><td>5</td><td>10フィールド</td></tr> <tr><td>6</td><td>15フィールド</td></tr> <tr><td>7</td><td>20フィールド</td></tr> <tr><td>8</td><td>30フィールド</td></tr> <tr><td>9</td><td>40フィールド</td></tr> <tr><td>A</td><td>50フィールド</td></tr> <tr><td>B</td><td>60フィールド</td></tr> </tbody> </table> 例) 2フィールドに設定する場合 [STX] LOF:1 [ETX] を送信します。	フィールドコード	フィールド数	0	1フィールド	1	2フィールド	2	3フィールド	3	4フィールド	4	5フィールド	5	10フィールド	6	15フィールド	7	20フィールド	8	30フィールド	9	40フィールド	A	50フィールド	B	60フィールド
	フィールドコード		フィールド数																									
0	1フィールド																											
1	2フィールド																											
2	3フィールド																											
3	4フィールド																											
4	5フィールド																											
5	10フィールド																											
6	15フィールド																											
7	20フィールド																											
8	30フィールド																											
9	40フィールド																											
A	50フィールド																											
B	60フィールド																											
← [ACK][STX] LOF [ETX]																												
1-SHOT REC SENSE	→ [STX] QLO [ETX]	1コマ録画モードの設定状態を確認するコマンドです。 LOI:-:- ↑ ↑ フィールドコード インターバル時間																										
	← [STX] LOI:-:- [ETX]																											

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

自動送信機能の設定/テープ残量レベルの設定 テープパスカウント/ブルーバックの設定

自動送信機能の設定

制御内容	コマンド	説明
AUTO TRANSMISSION SET	→ [STX] OCS:- [ETX]	VTRの動作モードに変化があった時に、動作モードのステータスを自動送信する機能のON/OFFを設定するコマンドです。 OCS:- ↑ N : 自動送信機能ON F : 自動送信機能OFF
	← [STX] OCS [ETX]	
AUTO TRANSMISSION SETTING SENSE	→ [STX] QSC [ETX]	自動送信機能のON/OFFを確認するコマンドです。
	← [STX] OCS- [ETX]	

テープ残量レベルの確認(AG-6740のみ)

制御内容	コマンド	説明
TAPE REMAIN SENSE	→ [STX] QHR [ETX]	テープ残量を確認するコマンド。 QHR-- ↑ NO : イジェクト状態 10 : 10%以下 02 : 2%以下 ** : 計算中、もしくは10%以上
	← [ACK][STX] HTR-- [ETX]	

テープパスカウント関連のコマンド

制御内容	コマンド	説明
TAPE PASS AUTO COUNT SENSE	→ [STX] QLQ [ETX]	テープパス(オートリワインド)回数を確認するコマンドです。 LTP----- ↑ 0000~9999を表示
	← [STX] LTP----- [ETX]	
TAPE PASS RESET	→ [STX] LTP:R [ETX]	テープパス回数をリセットします。
	← [ACK][STX] LTP [ETX]	

ブルーバック設定(AG-6740のみ)

制御内容	コマンド	説明
DISPLAY BLUE BACK MODE SET	→ [STX] DTB:- [ETX]	ブルーバック機能のON/OFFを設定するコマンドです。 DTB:-- ↑ N : ブルーバックON F : ブルーバックOFF
	← [ACK][STX] DTB [ETX]	
DISPLAY BLUE BACK MODE SETTING SENSE	→ [STX] QDK [ETX]	ブルーバック機能のON/OFFを確認するコマンドです。
	← [ACK][STX] DTB- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

●ブルーバック機能:

映像入力端子からカメラからの映像信号が入ってこない時、もしくはVTRが録画以外のモードになっている時ブルーバック映像にする機能です。録画もれを防止するのに便利です。

内部タイマーの設定

内部タイマーの設定

制御内容	コマンド	説明																																																		
INTERNAL TIMR REC	→ [STX] LIT:---:---:--- [ETX]	<p>内部タイマー録画モードを設定するコマンドです。</p> <p>LIT:--:hhmm:hhmm:-</p> <p>↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑</p> <p>T(時間)モードコード 録画終了時刻 (0000~2359) 録画開始時刻 (0000~2359)</p> <p>N : 内部タイマー設定 ON F : 内部タイマー設定 OFF</p> <p>曜日コード</p> <p>0 : 日曜日 4 : 木曜日 1 : 月曜日 5 : 金曜日 2 : 火曜日 6 : 土曜日 3 : 水曜日 7 : 毎日(デイリータイマー)</p> <table border="1" data-bbox="878 828 1301 1467"> <thead> <tr> <th rowspan="2">Tモード コード</th> <th colspan="2">時間モード</th> </tr> <tr> <th>標準モード</th> <th>HDモード AG-6740のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>2H</td><td>—</td></tr> <tr><td>1</td><td>6H</td><td>—</td></tr> <tr><td>2</td><td>L12H</td><td>—</td></tr> <tr><td>3</td><td>L18H</td><td>—</td></tr> <tr><td>4</td><td>L24H</td><td>—</td></tr> <tr><td>5</td><td>24H</td><td>24H</td></tr> <tr><td>6</td><td>48H</td><td>48H</td></tr> <tr><td>7</td><td>72H</td><td>72H</td></tr> <tr><td>8</td><td>84H(96H)</td><td>96H</td></tr> <tr><td>9</td><td>120H</td><td>120H</td></tr> <tr><td>A</td><td>180H</td><td>180H</td></tr> <tr><td>B</td><td>240H</td><td>240H</td></tr> <tr><td>C</td><td>480H</td><td>480H</td></tr> <tr><td>D</td><td>000H</td><td>000H</td></tr> <tr><td>E</td><td>—</td><td>960H</td></tr> </tbody> </table> <p>* 96H ↓ AG-6740 のみ</p>	Tモード コード	時間モード		標準モード	HDモード AG-6740のみ	0	2H	—	1	6H	—	2	L12H	—	3	L18H	—	4	L24H	—	5	24H	24H	6	48H	48H	7	72H	72H	8	84H(96H)	96H	9	120H	120H	A	180H	180H	B	240H	240H	C	480H	480H	D	000H	000H	E	—	960H
	Tモード コード			時間モード																																																
標準モード		HDモード AG-6740のみ																																																		
0	2H	—																																																		
1	6H	—																																																		
2	L12H	—																																																		
3	L18H	—																																																		
4	L24H	—																																																		
5	24H	24H																																																		
6	48H	48H																																																		
7	72H	72H																																																		
8	84H(96H)	96H																																																		
9	120H	120H																																																		
A	180H	180H																																																		
B	240H	240H																																																		
C	480H	480H																																																		
D	000H	000H																																																		
E	—	960H																																																		
← [ACK][STX] LIT [ETX]																																																				
INTERNAL TIMER REC ALL SET	→ [STX] LIT:-- [ETX]	<p>内部タイマーの8プログラム全てのON/OFFを設定するコマンドです。</p> <p>LIT:--</p> <p>↑</p> <p>AN : オールON AF : オールOFF</p>																																																		
	← [STX]LIT[ETX]																																																			

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

メモリーデータの表示/リセット

メモリーデータの表示/リセット

制御内容	コマンド		説明
ALARM RECALL DATA DISPLAY	→	[STX] LAP:- [ETX]	アラームリコールメモリのデータ表示をON/OFFするコマンドです。 LAP:- ↑ N :表示 ON F :表示 OFF
	←	[ACK][STX] LAP [ETX]	
ALARM RECALL DATA RESET	→	[STX]LAR[ETX]	アラームリコールメモリのデータをリセットします。
	←	[ACK][STX]LAR[ETX]	
POWER LOSS MEMORY RESET	→	[STX]LWR[ETX]	パワーロスメモリデータをリセットするコマンドです。
	←	[ACK][STX]LWR[ETX]	
LAP DATA RESET	→	[STX]LLR[ETX]	ラップデータをリセットするコマンドです。
	←	[ACK][STX]LLR[ETX]	
PAGE DATA RESET	→	[STX]LPR[ETX]	ページデータ(1コマ録画での記録コマ数)をリセットするコマンドです。
	←	[ACK][STX]LPR[ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

アラームリコールデータの確認

アラームリコールデータの確認

制御内容	コマンド	説明
ALARM RECALL DATA SENSE	→ [STX] QLD:- [ETX] ← [ACK] [STX] LAN:-:-:- [ETX]	<p>過去8回のアラームデータを指定して確認するコマンドです。</p> <p>送信 QLD:- ↑ 0~7 : 0を最新データとして、過去8回までアラームデータを 確認できる</p> <p>応答 LAN:-:-:-:- ↑ ↑ ↑ アラーム番号 日付 時刻</p> <p>送信例) 3回前のデータを確認する場合 [STX]QLD:3[EXT]を送信します。</p> <p>応答例) 1992年9月15日7時9分15秒に12回目のアラームが発生していた場合 [STX] LAN12:19960915:070915 [ETX] を応答します。</p> <p>アラームデータが無い場合 [STX] LANFF:19960000:000000 [ETX] を応答します。</p>

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

Date: Tue, 05 Oct 1999 15:37:22 +0900

From: 橋本 美香<VSD1044@paso.avcg.mei.co.jp>

To: matano@vsd.mei.co.jp

Subject: DVCAM簡易再生改造要望書ファイル案内

各位

「DVCAM簡易再生改造要望書」の用紙は、以下のファイルに入っていますので、ご利用下さい。

ファイル場所 : 営業部共通 → 販売施策 → 「DVCAM再生におけるご注意」

以上

パワーロスメモリデータの確認

パワーロスメモリデータの確認

制御内容	コマンド	説明
POWER LOSS MEMORY DATA SENSE	→ [STX] QLP:- [ETX] ← [ACK] [STX] LPL-:-:- [ETX]	<p>過去4回のパワーロスメモリデータを指定して確認するコマンドです。*パワーロス:停電</p> <p>送信 QLP:- ↑ 0~3 :0を最新データとして、過去4回までパワーロスデータを 確認できる(入力省略時は0)</p> <p>応答 LPL-:-:- ↑ ↑ ↑ 日付 時刻 パワーロス番号</p> <p>送信例) 3回前のデータを確認する場合 [STX]QLP:3[EXT]を送信します。</p> <p>応答例) 1996年9月15日7時9分15秒に2回目のパ ワーロスが発生していた場合 [STX] LPL02:19960915:070915 [ETX] を応答します。</p> <p>パワーロスデータが無い場合 [STX] LPLFF:<u>19960000</u>:000000 [ETX] を応答します。 ↑ 機種ごとに違います</p>

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

その他のデータ確認

その他のデータ確認

制御内容	コマンド	説明
LAP DATA SENSE	→ [STX] QLL [ETX]	ラップタイムデータを確認するコマンドです。 応答 LLT: - ↑ ラップタイムデータ (0000:00:00~9999:59:59) 例) ラップタイムデータが140時間8分5秒の場合 [STX] LLT1400805 [ETX]を応答します
	← [ACK][STX] LLT- [ETX]	
PAGE DATA SENSE	→ [STX] QLG [ETX]	ページデータ(1コマ録画での記録コマ数)を確認するコマンドです。 応答 LPG: - ↑ ページデータ (000000~999999)
	← [ACK] [STX] LPG- [ETX]	
HOUR METER SENSE	→ [STX] QLH [ETX]	アワーメータを確認するコマンドです。 応答 LHR: - ↑ アワーメータ(0000~9999) ●オプションコマンドで5桁まで表示可能です。 送信 QLH: 5 応答 LHR: - ↑ アワーメータ(00000~99999)
	← [ACK] [STX] LHR- [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

IDコードの確認/ACK応答の設定

IDコードの確認

制御内容	コマンド		説明
DECK ID SENSE	→	[STX] QID [ETX]	VTRのIDを確認するコマンドです。
	←	[STX] AG-6730T [ETX] :AG-6730	
		[STX] AG-6740T [ETX] :AG-6740	
		[STX] AG-6040T [ETX] :AG-6040	

ACK応答の設定

制御内容	コマンド		説明
ACK RETURN ON	→	[STX] RAN [ETX]	ACKコードの応答を行うように設定するコマンドです。 例) ディスプレイモードを設定する場合 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">送信</div> [STX] DMS:T:M:O [ETX] <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">応答</div> [ACK][STX] DMS [ETX] ↑ ACKコードの応答を行う
	←	[STX] RAN [ETX]	
ACK RETURN OFF	→	[STX] RAF [ETX]	ACKコードの応答を行わないように設定するコマンドです。 例) ディスプレイモードを設定する場合 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">送信</div> [STX] DMS:T:M:O [ETX] <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">応答</div> [STX] DMS [ETX] ↑ ACKコードの応答を行わない
	←	[STX] RAF [ETX]	
ACK RETURN SENSE	→	[STX] QRA [ETX]	ACKコードの応答設定を確認するコマンドです。 ACK ON = [STX] RAN [ETX] ACK OFF = [STX] RAF [ETX]
	←	[STX] RAN [ETX] [STX] RAF [ETX]	

→ : 送信(パソコン→VTR)

← : 応答(パソコン←VTR)

コマンド一覧表

コマンドグループ [O, P, H, T, S]

～	送信コマンド (パソコン→VTR)	応答コマンド (パソコン←VTR)	内容
■コマンドグループ(O)基本操作			
14	[STX]OAL[ETX]	[STX]OAL[ETX]	アラームのリセット
10	[STX]OAF[ETX]	[STX]OAF[ETX]	1コマ送り(+)
14	[STX]OAI[ETX]	[STX]OAI[ETX]	アラームイン
10	[STX]OAR[ETX]	[STX]OAR[ETX]	1コマ送り(-)
9	[STX]OEJ[ETX]	[STX]OEJ[ETX]	イジェクト
9	[STX]OFF[ETX]	[STX]OFF[ETX]	早送り(FF)
9	[STX]OPA[ETX]	[STX]OPA[ETX]	一時停止/静止(PAUSE/STILL)
10	[STX]OPL[ETX]	[STX]OPL[ETX]	再生(PLAY)
10	[STX]OPR[ETX]	[STX]OPR[ETX]	逆再生
9	[STX]ORC[ETX]	[STX]CRC[ETX]	録画(REC)
10	[STX]ORR[ETX]	[STX]ORR[ETX]	録画チェック(REC REVIEW)
9	[STX]ORW[ETX]	[STX]ORW[ETX]	巻戻し(REW)
9	[STX]OSP[ETX]	[STX]OSP[ETX]	停止(STOP)
10	[STX]OSF:7(5)[ETX]	[STX]OSF[ETX]	早送り再生[7(5)倍速]
10	[STX]OSR:7(5)[ETX]	[STX]OSR[ETX]	巻戻し再生[7(5)倍速]
41	[STX]OCS:-[ETX]	[STX]OCS[ETX]	自動送信モード
■コマンドグループ(P)電源			
9	[STX]POF[ETX]	[STX]POF[ETX]	電源OFF
9	[STX]PON[ETX]	[STX]PON[ETX]	電源ON
■コマンドグループ(H)メディア設定			
28	[STX]HEE[ETX]	[ACK][STX]HEE[ETX]	通常イジェクト動作
28	[STX]HEA[ETX]	[ACK][STX]HEA[ETX]	自動巻戻し後イジェクト
29	[STX]HTE:-[ETX]	[ACK][STX]The[ETX]	テープ終端モード
29	[STX]HTI:-[ETX]	[ACK][STX]HTI[ETX]	テープ挿入時の動作モード
■コマンドグループ(T)タイマー設定			
26	[STX]TCS:yyyymmdd[ETX]	[ACK][STX]TCS[ETX]	タイマー日付合わせ
27	[STX]TTS:hmmss[ETX]	[ACK][STX]TTS[ETX]	タイマー時刻合わせ
28	[STX]TAT:--:-[ETX]	[ACK][STX]TAT[ETX]	自動時刻合わせ
27	[STX]TDS:yyyymmdd:hmmss [ETX]	[ACK][STX]TDS[ETX]	タイマー日付・時刻合わせ
■コマンドグループ(S)サーチ操作			
21	[STX]SCP:ghmmssff[ETX]	[ACK][STX]SCP[ETX]	任意の箇所をサーチし再生
21	[STX]SCS:ghmmssff[ETX]	[ACK][STX]SCS[ETX]	任意の箇所をサーチし静止画再生
22	[STX]SUB:-----[ETX]	[ACK][STX]SUB[ETX]	任意のUB値をサーチし静止画再生
23	[STX]SAS:-[ETX]	[ACK][STX]SAS[ETX]	アラーム録画部分をサーチし静止画再生
23	[STX]SPT:ghmmssff[ETX]	[ACK][STX]SPT[ETX]	任意の箇所まで再生
22	[STX]SDT:mdd[ETX]	[STX]SDT[ETX]	日付をサーチ
21	[STX]SSD:mdd:hmmssff[ETX]	[ACK][STX]SSD[ETX]	日付・時刻サーチ
20	[STX]SCZ:-[ETX]	[ACK][STX]SCZ[ETX]	メモリーサーチモード設定 6740

コマンド一覧表 コマンドグループ[C, L, D]

～	送信コマンド (パソコン→VTR)	応答コマンド (パソコン←VTR)	内容
■コマンドグループ(C)カウンター設定			
19	[STX]CRT[ETX]	[STX]CRT[ETX]	CTLカウンタリセット
19	[STX]CTL[ETX]	[STX]CTL[ETX]	CTLモード
19	[STX]CTC[ETX]	[STX]CTC[ETX]	タイムコードモード
15	[STX]CTR[ETX]	[ACK][STX]CTR[ETX]	タイムコード リジエネモード
15	[STX]CTF[ETX]	[ACK][STX]CTF[ETX]	タイムコード フリーランモード
15	[STX]CRR[ETX]	[ACK][STX]CRR[ETX]	タイムコード レックランモード
16	[STX]CUS:-----[ETX]	[ACK][STX]CUS[ETX]	UBプリセット
16	[STX]CTS:ghmmssff[ETX]	[ACK][STX]CTS[ETX]	タイムコードプリセット
18	[STX]CVP:hhll[ETX]	[ACK][STX]CVP[ETX]	VITC挿入ライン設定
18	[STX]CVN[ETX]	[ACK][STX]CVN[ETX]	VITC録画モード ON
18	[STX]CVF[ETX]	[ACK][STX]CVF[ETX]	VITC録画モード OFF
■コマンドグループ(L)タイムラプス設定			
33	[STX]LTM:-[ETX]	[ACK][STX]LTM[ETX]	時間モード設定
36	[STX]LAS:-[ETX]	[ACK][STX]LAS[ETX]	アラームサーチ機能 ON/OFF
36	[STX]LAI:-[ETX]	[ACK][STX]LAI[ETX]	アラームインモード STOP/CONTINUE 設定
38	[STX]LRI:-[ETX]	[ACK][STX]LRI[ETX]	リポートインモードセット OFF/ACCEPT 設定
36	[STX]LAD:-[ETX]	[ACK][STX]LAD[ETX]	アラーム録画録画間隔設定
36	[STX]LAM:-[ETX]	[ACK][STX]LAM[ETX]	アラーム録画時間モード設定
37	[STX]LAL:-[ETX]	[ACK][STX]LAL[ETX]	アラームリセットレベル HIGH / LOW 設定
39	[STX]LCT:-[ETX]	[ACK][STX]LCT[ETX]	カメラ切り換えタイミング設定
39	[STX]LCS:-[ETX]	[ACK][STX]LCS[ETX]	カメラ切り換えモード設定
40	[STX]LOI:-[ETX][ETX]	[ACK][STX]LOI[ETX]	一コマ録画録画間隔設定
40	[STX]LOF:-[ETX]	[ACK][STX]LOF[ETX]	一コマ録画録画フィールド設定
38	[STX]LBZ:-[ETX]	[ACK][STX]LBZ[ETX]	ブザー設定
42	[STX]LIT:--:hhmm:hhmm:-[ETX]	[ACK][STX]LIT[ETX]	内部タイマー録画モード設定
34	[STX]LRM:-[ETX]	[ACK][STX]LRM[ETX]	録画モード設定
34	[STX]LRT:-[ETX]	[ACK][STX]LRT[ETX]	録画時間モード
44	[STX]LAR:-[ETX]	[ACK][STX]LAR[ETX]	アラームリコールデータリセット
44	[STX]LAP:-[ETX]	[ACK][STX]LAP[ETX]	アラームリコールデータ表示 ON/OFF
44	[STX]LWR[ETX]	[ACK][STX]LWR[ETX]	パワーロスメモリデータリセット
44	[STX]LLR[ETX]	[ACK][STX]LLR[ETX]	ラップデータリセット
44	[STX]LPR[ETX]	[ACK][STX]LPR[ETX]	ページデータリセット
35	[STX]LHD:-[ETX]	[ACK][STX]LHD[ETX]	高密度録画モード ON/OFF
41	[STX]LTP:R[ETX]	[ACK][STX]LTP[ETX]	テープパス回数リセット
14	[STX]LRR:-[ETX]	[ACK][STX]LRR[ETX]	自動録画チェック ON/OFF 6740
■コマンドグループ(D)ディスプレイ設定			
31	[STX]DPP:-[ETX]	[ACK][STX]DPP[ETX]	表示位置設定
31	[STX]DBW[ETX]	[ACK][STX]DBW[ETX]	表示文字色設定(白)
31	[STX]DBB[ETX]	[ACK][STX]DBB[ETX]	表示文字色設定(黒)
32	[STX]DDS:--:--:--[ETX]	[ACK][STX]DDS[ETX]	日付時刻表示 ON/OFF
32	[STX]DMS:--:--:--[ETX]	[ACK][STX]DMSETX	表示モード ON/OFF
41	[STX]DTB:-[ETX]	[ACK][STX]DTB[ETX]	ブルーバック機能 ON/OFF

コマンド一覧表

コマンドグループ[V, Q]

番号	送信コマンド (パソコン→VTR)	応答コマンド (パソコン←VTR)	内容
■ コマンドグループ(V)映像関連の設定			
30	[STX]VIL[ETX]	[ACK][STX]VIL[ETX]	映像ライン入力設定
30	[STX]VIS[ETX]	[ACK][STX]VIS[ETX]	映像S入力設定
30	[STX]VMD:--[ETX]	[ACK][STX]VMD[ETX]	入力映像カラー/白黒設定
30	[STX]VSN[ETX]	[ACK][STX]VSN[ETX]	S-VHS録画 ON
30	[STX]VSF[ETX]	[ACK][STX]VSF[ETX]	S-VHS録画 OFF
■ コマンドグループ(Q)問い合わせコマンド			
11	[STX]QOP[ETX]	[STX]---[ETX]	VTRモード問い合わせ
12	[STX]QOS[ETX]	[STX]OPS0000--0000 [ETX]	全VTRモード問い合わせ
14	[STX]QOR[ETX]	[STX]OR-[ETX]	録画チェック結果問い合わせ
20	[STX]QCD[ETX]	[STX]CD-----[ETX]	カウンタ値問い合わせ
15	[STX]QCT[ETX]	[STX]CT--[ETX]	タイムコードモード問い合わせ
16	[STX]QCB[ETX]	[STX]CUS-----[ETX]	TCGのUB値問い合わせ
17	[STX]QCU[ETX]	[STX]CUR-----[ETX]	TCRのUB読み取り値問い合わせ
18	[STX]QCP[ETX]	[STX]CVP----[ETX]	VITC挿入ライン問い合わせ
18	[STX]QCV[ETX]	[STX]CV-[ETX]	VITC録画モード ON/OFF 問い合わせ
16	[STX]QCS[ETX]	[STX]CTS-----[ETX]	TCGのTC値の問い合わせ
16	[STX]QCE[ETX]	[STX]CTE-----[ETX]	TCプリセット値の問い合わせ
16	[STX]QCA[ETX]	[STX]CUP-----[ETX]	UBプリセット値の問い合わせ
17	[STX]QCZ[ETX]	[STX]CTZ-[ETX]	TC読み取り値の問い合わせ
28	[STX]QTJ[ETX]	[ACK] [STX]TAT--:-[ETX]	時刻合わせ機能設定の問い合わせ
27	[STX]QTC[ETX]	[STX]TTS-----[ETX]	VTRの時刻の問い合わせ
27	[STX]QTL[ETX]	[STX]TCS-----[ETX]	VTRの日付の問い合わせ
31	[STX]QDB[ETX]	[ACK][STX]DB-[ETX]	表示文字モード白/黒問い合わせ
32	[STX]QDD[ETX]	[ACK] [STX]DDS-:-:-[ETX]	日付時刻表示モード問い合わせ
32	[STX]QDM[ETX]	[ACK] [STX]DMS-:-:-[ETX]	表示モード問い合わせ
31	[STX]QDP[ETX]	[ACK] [STX]DPP--[ETX]	文字表示位置問い合わせ
29	[STX]QHE[ETX]	[ACK] [STX]THE-[ETX]	テープエンドモード問い合わせ
29	[STX]QHI[ETX]	[STX]HTI-[ETX]	テープ挿入動作モードの問い合わせ
28	[STX]QHJ[ETX]	[STX]HE-[ETX]	イジェクト機能設定の問い合わせ
30	[STX]QVI[ETX]	[STX]VI-[ETX]	映像入力ライン問い合わせ
30	[STX]QVS[ETX]	[STX]VS-[ETX]	S-VHS録画 ON/OFF 問い合わせ
30	[STX]QVM[ETX]	[STX]VMD-[ETX]	入力映像カラーモードの問い合わせ
37	[STX]QLA:--[ETX]	[STX]LA-----[ETX]	アラーム録画モード設定の問い合わせ
39	[STX]QLC[ETX]	[STX]LCS-:-[ETX]	カメラ切り換え設定の問い合わせ
38	[STX]QLE[ETX]	[STX]LRI-[ETX]	リピートインモードの問い合わせ
47	[STX]QLG[ETX]	[ACK] [STX]LPG-----[ETX]	ページデータの問い合わせ
43	[STX]QLI[ETX]	[ACK] [STX]LIT-N:-----: -----:-[ETX] ([STX]LIT-F[ETX])	内部タイマー設定問い合わせ
34	[STX]QLR[ETX]	[ACK][STX]LRT-[ETX]	録画時間モード問い合わせ
40	[STX]QLO[ETX]	[STX]LOI-:-[ETX]	一コマ録画モード設定問い合わせ
34	[STX]QLM[ETX]	[ACK][STX]LRM-[ETX]	録画モード問い合わせ
33	[STX]QLT[ETX]	[STX]LTM-[ETX]	時間モードの問い合わせ
45	[STX]QLD[ETX]	[ACK][STX] LAN-:-:-----:----- [ETX]	アラームリコールデータの問い合わせ

コマンド一覧表 コマンドグループ[Q, R]

ページ	送信コマンド (パソコン→VTR)	応答コマンド (パソコン←VTR)	内容
■ コマンドグループ(Q)問い合わせコマンド(つづき)			
38	[STX]QLZ[ETX]	[ACK][STX]LZ-[ETX]	ブザー設定の問い合わせ
48	[STX]QID[ETX]	[STX]-----[ETX]	VTR IDの問い合わせ
48	[STX]QRA[ETX]	[STX]RA-[ETX]	ACK応答設定の問い合わせ
24	[STX]QRS[ETX]	[STX]RSE-[ETX]	サーチ終了コマンド応答タイミング問い合わせ
41	[STX]QDK[ETX]	[ACK]STX]DTB-[ETX]	ブルーバック機能 ON/OFF 問い合わせ
41	[STX]QSC[ETX]	[ACK]STX]OCS-[ETX]	自動送信機能 ON/OFF 問い合わせ
35	[STX]QLJ[ETX]	[ACK][STX]LHD-[ETX]	高密度録画モード ON/OFF 問い合わせ <small>[674]</small>
20	[STX]QCW[ETX]	[ACK] [STX]CTW----- -----[ETX]	VITC読み取り結果問い合わせ
27	[STX]QTD[ETX]	[ACK] [STX]TDS----- -----[ETX]	日付・時刻問い合わせ
41	[STX]QLQ[ETX]	[ACK] [STX]LTP-----[ETX]	テープパス回数問い合わせ
20	[STX]QSZ[ETX]	[ACK][STX]SCZ-[ETX]	メモリーサーチモード ON/OFF 問い合わせ
14	[STX]QRR[ETX]	[ACK][STX]LRR-[ETX]	自動録画チェックモード ON/OFF 問い合わせ
35	[STX]QLF[ETX]	[ACK][STX]LHDP-[ETX]	再生モード HD/NOMAL 問い合わせ <small>[674]</small>
11	[STX]QSO[ETX]	[ACK][STX]---[ETX]	VTRモード問い合わせ(+自動送信モード)
41	[STX]QHR[ETX]	[ACK][STX]HTR--[ETX]	テープ残量問い合わせ <small>[674]</small>
■ コマンドグループ(R)通信関連コマンド			
9	[STX]RCK[ETX]	[STX]RCK[ETX]	オンラインチェックコマンド
48	[STX]RAN[ETX]	[STX]RAN[ETX]	ACK応答設定 ON
48	[STX]RAF[ETX]	[STX]RAF[ETX]	ACK応答設定 OFF
24	[STX]RSE[ETX]	[STX]RSE[ETX]	サーチ終了コマンド応答設定

サンプルプログラム

このサンプルプログラムは前述したコマンドをVTRに送信し、帰ってきたデータを表示するGW BASICプログラムです。

プログラムの動作説明

- ①プログラム実行後、送信したいコマンドを input char=(5行目)の後にキーボードから入力し、リターンキーを入力します。
- ②入力されたコマンドに[STX][02H]、[ETX][03H]を自動的に付加し、VTRに送信します。
- ③入力されたコマンドを input data=(10行目)の後に表示し、VTRから受信したデータを output data=(12行目)の後ろに表示します。

以上の動作を繰り返します。

サンプルプログラム

```
10 CLS
20 STX$=CHR$ (&H2) : ETX$=CHR$ ($H3) : NAK$=CHR$ (&H15) : ACK$=CHR$ (&H6)
30 LOCATE 2,10 : PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
40 LOCATE 3,15 : PRINT"input character = 99 then end"
50 open "com1:9600,0,7,1,BIN" AS 1
60 LOCATE 5,18 : PRINT" "
70 LOCATE 5,5 : INPUT"input char = " ;A$
80 IF A$ ="99" THEN 250
90 PRINT #1, STX$+A$+ETX$;
100 IF LOC (1) > 0 THEN RSWAIT = 0 : GOTO 140
110 RSWAIT = RSWAIT + 1
120 IF RSWAIT <1000 THEN 100
130 LOCATE 12, 18 : PRINT "**** NO DATA **": RSWAIT = 0 : GOTO 230
140 RS$ = INPUT$ (1, #1)
150 IF RS$ = ACK$ THEN RS$ = "[ACK]"
160 IF RS$ = NCK$ THEN RS$ = "[NCK]"
170 IF RS$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + RS$ : GOTO 200
180 BUFFER$ = BUFFER$ + RS$
190 GOTO 140
200 LOCATE 10, 18 : PRINT " "
210 LOCATE 12, 18 : PRINT " "
220 LOCATE 12, 5 : PRINT "output data = " ; BUFFER$
230 LOCATE 10, 5 : PRINT "input data = " ; A$
240 BUFFER$ = : GOTO 60
250 CLOSE #1
260 STOP
```

(GW BASIC)